

笑顔あふれるまちづくり



いいぬま雅子

日本共産党品川区議会議員区政報告

NO. 312. 2008. 6. 15.

共産党条例提案。応援よろしく！

# 高齢者の入院時負担を軽減する条例

自・公・民・無・ネに共同提案呼びかけ中

度重なる増税、介護保険料も医療保険料も値上げ、おまけに後期高齢者医療制度で高齢者のみなさんは踏んだり蹴つたりの生活です。国の政治が悪い時に頑張るのが自治体です。高齢者の方々の経済的負担を少しでも軽減したいの思いで、条例をつくりました。予算は、年間2億円ですが、毎年150億円も貯金をし、基金が600億円以上も溜め込まれている品川区です

から十分可能です。議会で可決されれば、09年1月1日から実施です。内容は少し違いますが、千代田区、新宿区で先行して実施されていますので、品川でも是非実現させたいです。共産党は、医療費無料を復活させるため運動を広げています。大企業や一握りの大金持ちを優遇している、異常な日本の税制を正せば、消費税を増税しなくともできるのです。

## 条例提案の内容



### (目的)

満75歳以上の高齢者が入院した場合の経済的負担を軽減する。

### (対象者)

75歳以上の品川区民で医療機関に入院している方。

### (支援金の対象と額)

医療費と、紙おむつなどの日用品の実費。月額1万円を上限。所得制限なし。

6月19日から第2回定例会が始まります。共産党は、「品川区高齢者医療入院時負担軽減支援金の支給に関する条例」を提案します。自民・公明・民主・無所属クラブ・無所属の会・生活者ネットに共同提案者となるよう呼びかけています。



# ビル風被害の対策を求める署名 1時間で136筆の反響

## 武蔵小山の居住環境を考える会



時間で96筆と136筆とたくさんの方が署名をしてくださいました。「風が強くて、この道は通りたくない」「友達の家の屋根瓦が飛び、雨漏り被害にあった」「自転車ごと飛ばされた人がある」など訴えも多数でした。「署名を始めて良かった。地域の声



建設が野放しに進み、武蔵小山が子どもや高齢者が安心して歩けない街になったら大変です。都と区がすすめる再開発は見直せの声を広がっています。

後押しになった」と会の皆さんは元気になりました。このまま、次々に高層マンション

19階建「パークホームズ武蔵小山」の周辺でビル風被害が多発しているのに、事業主三井不動産は、風害を認めません。品川区も「あの地域に風害はございません」と建設業者と全く同じ態度です。3年間環境のことを訴え続けてきた会は怒り、品川区議会への請願署名に取り組みました。

- ①事業主が、周辺住民の苦しみ困難をしっかりと受け止め、話し合いを行うよう指導を
- ②事業主に対し、ビル風の実態を把握し、十分な対策をとるように指導を
- ③区としてビル風被害を調査研究し、防止対策に取り組んでください。

以上3項目が請願項目です。6月1日と7日の2回、19階建マンションの横で署名に取り組みましたが、1

## 第2回定例区議会 一般質問傍聴においでください。

### 6月19日（木）15時から中塚亮区議

- ①介護・福祉職員の人材不足は深刻、打開のために品川区は力を注げ
- ②高すぎる高校・大学の学費、品川区は、奨学金制度の充実で支援を
- ③（仮称）JR東日本東京資源循環センターと区の廃プラ処理施設計画は、情報公開と住民合意を前提に

### 6月20日（金）14時から菊地貞二区議

- ①「長生きはいけないのか」区民に渦巻く怒りの声、後期高齢者医療制度は廃止を
- ②深刻な工事被害と大気汚染を加速する中央環状品川線建設は中止を
- ③280人が入れない！今こそ認可保育園の増設で待機児の解消を

\* 4階事務局で手続き、6階共産党控え室にお寄りください